

# クリニカルパス通信



## クリニカルパスとは？

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されています。

## パスのピットフォール

- 食事が組み込まれているパスで、入院予約をするときは**欠食**でオーダーするとエラーになりません！
- 術前入院期間などで日程を合わせるためにパスを短くするよりは、短いパスを長くする方がうまくいきます



## 平成28年度第1回ミニクリニカルパス大会を開催しました

クリニカルパス委員会 委員長 木戸川秀生

パス大会は昨年度までは1年に1度の開催でしたが、それだとなかなかパスが普及しないことに鑑みて、今年から2ヶ月に1度の開催としてみました。内容は1演題のみで30分で終了するようにします。今回、最初なので委員長の木戸川みずから発表させていただきました。誰も来ないかな？と心配でしたが、参加人数60名と沢山の職員の方々に聞きに来て頂きました。

### 演題名：結腸切除パスのバリエーション分析と見直し

外科：木戸川秀生

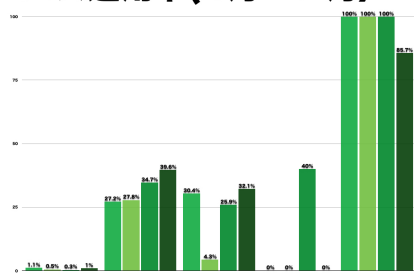
要点：結腸切除パスは入院期間11日に設定してましたが、期間内入院は25例中2例のみという結果でした。その原因は・・・

興味がある方は八幡病院ホームページ>クリニカルパスの部屋に掲載してますのでご覧ください。

<http://www.yahatahp.jp/clinicalpath/clinicalpath.html>



## パス適用率(4月～7月)



## 現在運用中のパスは58個

外科・呼吸器外科	30
形成外科	13
眼科	4
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	2
小児科	1
看護科	4

眼科のパス適用率はほぼ100%！  
病院全体のパス適用率はまだまだ低く7.0%です。今回整形外科と脳神経外科が新パスを発表しました。この調子でまだパスを作成していない診療科にも広げていきたいと思えます。

## 次回パス大会のお知らせ

平成28年10月26日(水) 17:30  
演者：福永聡（西3階病棟）

演題：未定

※看護パスの作り方やパスを使うにあたっての注意点などについて発表予定です

## 新規パス紹介

8月31日のパス委員会にて新しく12のパスが承認されました！

## 1. 虫垂炎外来手術出しパス（外科・呼吸器外科）

虫垂炎患者さんが外来を受診して手術室へ入るまでのパスです。

## 2. 直腸切除（ストーマあり）パス（外科・呼吸器外科）

マイルズ手術やハルトマン手術のように、最初から人工肛門を作成する手術で使用します。人工肛門のケア、教育などの項目を追加しています。

## 3. 小児軽症虫垂炎手術パス（外科・呼吸器外科）

虫垂炎パスの小児版です。

## 4. 腹水・胸水濾過濃縮再静注法パス（外科・呼吸器外科）

胸腹水を抜いた際に濾過濃縮して再度患者さんに静注することでアルブミンの喪失をできるだけ低減することができます。

## 5. 左右人工骨頭置換術パス（整形外科）

大腿骨頸部骨折の患者さんで人工骨頭置換術を行う時に適用します。術後14日目までのパスです。

## 6. 脳血管造影パス（脳神経外科）

2泊3日で脳血管造影検査を行う患者さん用のパスです。

## 7. 慢性硬膜下血腫パス（脳神経外科）

慢性硬膜下血腫に対して局所麻酔下に穿頭術を行う患者さん用です。7日目までのパスです。

## 8. 白内障・硝子体手術パス（眼科）

白内障・硝子体手術を行う患者さん用で6日目までのパスです。

## 9. 西3階病棟看護パス（胃・腸、化学療法、胆道系）

通常の看護パスをより疾患に特化したパスを3つ追加しました。